

# 第1学年 国語科学習指導案

## 1 単元名

さくらももこの文章術に迫る！  
～書き手の視点から表現の効果を読み取ろう～

## 2 単元の目標

- (1) 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能] (1) ウ
- (2) 文章の表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] C (1) エ
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

## 3 本単元における言語活動

随筆を書き手の目線で読み、構成や展開、表現の効果などについて話し合うことで、「『二十歳になった日』の面白さとは一体何か」を考え、自分の意見を伝え合う言語活動。

([思考力、判断力、表現力等] C (2) イ)

## 4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して読み、話や文章の中でどのような意味や効果をもたせて使われているかを理解することを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。(1)ウ	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ	心情を表す表現とその効果について粘り強く考えることを通して、作者のものの見方や考え方をとらえ、随筆を読み味わおうとしている。

## 5 単元について

### (1) 本単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、随筆を書き手の目線で読み、表現の効果について話し合うことで、「『二十歳になった日』の面白さとは一体何か」を考え、自分の意見を伝え合う言語活動を行う。これは、中学校学習指導要領解説国語編(平成29年告示、以下「学習指導要領」)の第1学年、2〔思考力、判断力、表現力等〕C読むことの言語活動例イ「小説や随筆などを読み、考えたことなどを記録したり、伝え合ったりする活動」を踏まえている。

『二十歳になった日』は、「ちびまるこちゃん」で有名なさくらももこ氏のエッセイ集『たいのおかしら』(集英社・2003年)に収録されている。筆者の二十歳になったことへの祝福と感謝の気持ちにあふれた誕生日の一日の出来事が親しみやすい語り口で表現されてお

り、文章を通して、筆者の個性的なものの見方や、意外な一面を発見することが期待できる。そして、生徒にとっても、読みやすく理解のしやすい内容であると言えるだろう。しかし、ただ平易なだけではなく、この文章には様々な筆者の工夫が見られる。以下は、表現の工夫やそれによって生まれる作品の面白さをまとめたものである。

表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の素直で斜めからくるような視点を、大人の様々な表現力を駆使した言葉で書いているため、思わず笑みがこぼれるような面白さを感じさせる。</li> <li>・心情表現が多彩で、比喻表現なども多く見られる。そのため、筆者のものの捉え方や思いが読み取りやすい。</li> <li>・本文の中には繰り返し用いられる、「まっすぐ」「ひとり」「歩く」といったキーワードとなる言葉があり、筆者が「二十歳になった」ことをきっかけに自己を見つめ、何気ないことに深く感じ入ることで筆者の内面に何か大きな変化が起きて今後の人生への決意が固まっていく成長の様子を感じさせる。</li> <li>・親しみやすい書きぶりのため、読み手が構えることなく筆者の気持ちに向き合うことができる。</li> <li>・短文を適所に用いることで軽快なテンポを生み出している。</li> </ul>
----	--

そもそも随筆とは、自分の思ったことや感じたことを書き綴った文章のことであり、テーマや文体、構成に一切縛りのないことが特徴である。また、客観的事実を正しく書くことよりも、「自分がどう思ったか」という主観が重要視されるため、中学校で学習する散文の中でも筆者の思いが強く表れていると言える。たとえるなら作者の視点や心を通じたスケッチのようなもので、書き手の心情や書き手が見出した価値や意味は、文章の表現に如実に表れているといってもよい。だからこそ、生徒が文章全体に散りばめられた筆者の心情や価値観を、文章の表現などに着目し、それを根拠としながら正しく読み取る活動を行うことで、自分の考えをもって文章を読むことができるようになると思う。

また、表現の効果について生徒が「自分が随筆を書くときに何を筆者から盗めるか」という書き手の視点で本文を読むことで、目的意識が生まれ、「表現の効果について、根拠を明確にして考える力」を高めることにつながると考える。

## (2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元では、随筆を書き手の目線を読み、表現の効果について話し合うことで、『二十歳になった日』の面白さとは一体何か」という作品の魅力を考え、自分の意見を伝え合う言語活動を通して、〔思考力、判断力、表現力等〕のC(1)エ「文章の表現の効果について、根拠を明確にして考える」力を身に付けさせたい。

この力を付けることで、自分の伝えたいことに説得力をもたせることができる。話や文章に説得力が備わると、相手を納得させることや、自分の言動の基盤となるものができるため自信をもって表現することが期待できる。生徒が明確な根拠を示しながら、自信をもって自分の伝えたいことを伝える力をこの単元を通して身に付け、伸ばしていきたい。

初めに、本単元からつながる活動として随筆を自分でも書くことを念頭に、「自分が随筆を書くなら」という書き手の視点で本文を読むよう見通しをもたせる。身近なテーマの文章の書き出しを書かせ、それを読み合って「難しかったこと」「他の作品で良いと思ったこと」を挙げる。そうすることで、自分の文章に足りないものや、文章を書く上での困り感を学習者の共通認識としてもたせ、自分の課題を明確にし、より書き手の視点で本文を読むことができると思う。

そして、本文を読む際の大きな問いとして、『二十歳になった日』の面白さとは何か」を提示する。これを考えるために、本文の「さくらももこさんらしさ」を排除して書き直

した文章を提示し、読み比べをさせる。そして、表現について本文のどの部分（描写）がどのように工夫され、どのような効果をもっているのかを話し合っただけで考えを深める。表現について話し合われた工夫や効果が「何が面白いのか」に対する「答え」の根拠になるよう、つながりを意識しながら整理させたい。それらを班や学級内で共有することにより、生徒自身が何に気を付けて、どんな工夫をして書くのかを様々な視点から考え、随筆の執筆に生かすことが期待できる。

### (3) 5の(1)の基盤となる言語活動

「小説や随筆などを読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする言語活動」として、物語文を扱った際は登場人物の心情の動きやそれを表す様々な表現に着目して、読み取ったことや考えたことをまとめる活動を行っている。『はじまりの風』では、レンの心情が読み取れる表現を、「心情描写」「行動描写」「情景描写」の3つに分けて抜き出し、それぞれがもつ効果について話し合った。『大人になれなかった弟たちに……』では、「戦争が奪ったものは何か」という大きな問いを提示した。その答えを導くために、本文をもとにして生徒から挙がった疑問をグループごとに話し合っただけで検討し、それを発表・共有して自分なりの答えを短い文章にまとめた。登場人物の思いを読み取る際は、『はじまりの風』の学習を生かして心情・行動・情景の描写を探しており、それが自分の読み取ったことの根拠として自分の考えを伝えている生徒も見られた。また、詩の学習で確認した表現技法の知識を、心情の読み取りの際に活用している生徒もいる。ただ、定着というにはまだ不十分のため、本単元でも振り返らせ、読み取りのきっかけになるようにする。

## 6 指導と評価の計画（全4時間）

	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○随筆について知る。 ○「思い出の誕生日」についての書き出しを実際に書いてみる。 ○難しかった点について話し合う。	[主体的に学習に取り組む態度]	ワークシート 観察
2	○単元の目標を設定する。 ○筆者について知る。 ○本文を通読し、内容を整理する。	[思考・判断・表現] [知識・技能]	ワークシート 観察
3	○本文と、本文を客観的事実のみにして書き直した文章を読み比べ、どのような点が違うのかを書き出す。 ○本文に施された表現の工夫や効果について気付いたことを話し合う。	[知識・技能] [思考・判断・表現] [主体的に学習に取り組む態度]	ワークシート 観察
4	○前時で読み取ったものを踏まえ、自分が随筆を書く際にどんなことを生かしたいかについて意見交換をする。	[主体的に学習に取り組む態度]	ワークシート 観察

7 指導計画 (全4時間)

時	主たる学習活動	指導上の留意点	評価基準・評価方法
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習活動の見通しをもつ。</li> <li>○随筆について知る。</li> <li>○「思い出の誕生日」というテーマを設定し、書き出しのみを書く。</li> <li>○班で読み合って感想を共有し、随筆を書くにあたって、何が難しかったか、意見を述べ合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の作品を紹介し、随筆の特徴を確認する。</li> <li>・15分程度の時間で書かせる。</li> <li>・表現の観点から考えさせる。→書き出し、結び、心情を表す適切な表現</li> <li>・書き手の視点を味わうための体験として実施するため、作文の出来等は評価しない。後日、別単元で書かせる際の比較資料として用いる。</li> </ul>	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習活動の見通しをもつ。</li> <li>○筆者について知る。</li> <li>○本文を通読する。</li> <li>○本文の印象に残った表現をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が随筆を書く際に生かすことを探すために本文を読むこと、</li> <li>・スライド等を用いて説明する。</li> <li>・印象に残った語句・表現と理由について、ワークシート1に書かせる。</li> </ul>	<p>[知識・技能]</p> <p><u>ワークシート・観察</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここでは、本文の中で、語句がどんな意味や効果をもたせて使われているかの理解について確認する。</li> </ul>
3 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習活動の見通しをもつ。</li> <li>○本文と、本文の個性を抑えて書き直した文章を読み比べ、異なる点を整理する。</li> <li>○本文で見られる工夫は、文章全体において、どのような効果をもたらしているか、読み手にどのような印象をもたせるかを話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4～5人の班を作り、違いが明らかになるように、ワークシート2に比較させる形でまとめさせる。</li> <li>・</li> </ul>	<p>[思考・判断・表現]</p> <p><u>ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここでは表現の効果について根拠を明確にして考えているかを確認する</li> <li>[主体的に学習に取り組む態度]</li> </ul> <p><u>ワークシート・観察</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心情を表す表現とその効果について考え、作者のものの見方や考え方をとらえようとしているか確認する。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時で読み取ったものを踏まえ、クラスメイトの意見を読む。</li> <li>○自分が随筆を書く際に生かしたいことについて意見交換をする。</li> <li>○単元の振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドを見ながら良いと思ったものを確認させる。</li> <li>・各班でまとめたスライドはクラスルームで共有しておく。</li> <li>・ワークシートに記入させる。</li> <li>・振り返りを発表ノート(4)に記入させる。</li> </ul>	<p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p><u>発表ノート・観察</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここでは、積極的に考えを相手に伝えたり対話したりして、自分の読みを深めようとしているか確認する。</li> </ul>

Cの生徒に対しては、他者の意見で納得できたものを使ってまとめよう、声をかける。

Cの生徒に対しては、他者の意見で納得できたものを使ってまとめよう、声をかける。

## 8 本時の計画（3/4時間目）

### （1）本時の目標

- ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕 C（1）エ

### （2）本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入 (5分)	○本時の見通しをもつ。	・本時の活動について説明する。	
『二十歳になった日』の工夫された表現を読み取ろう。			
展開 (35分)	○本文と、本文の個性を抑えて書き直した文章を読み比べ、異なる点を整理する。  ○読み比べで挙げられた表現の工夫や効果を話し合う。	・4～5人の班ごとにスライドに話し合った内容をまとめさせる。 ・司会進行、タイムキーパー、書記などの役割を設定し、スムーズに話し合いが進むようにする。 ・順序や各観点の個数は指定せずや	〔思考・判断・表現〕 <u>Google スライド</u> <u>ワークシート</u> ・ここでは、文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えているかを確認する。
<p>★工夫 ☆効果 の例 (P.2 参照)</p> <p>★心情表現が多彩で、比喻表現なども多く見られる。 →☆筆者のものの捉え方や思いが読み取りやすい。</p> <p>★本文には繰り返し用いられる、「まっすぐ」「ひとり」「歩く」などのキーワードがある。 →☆内面的に自己を見つめ、何気ないことに深く感じ入ることで筆者の心に大きな変化が起き、今後の人生への決意が固まっていく成長の様子を感じさせる。</p> <p>★平易な言葉や大人風の言い回しを使い分けている。 →☆読み手が筆者の気持ちに向き合うことができる。ユーモアにあふれた表現である。</p> <p>★「四十分」「二時間余り」といった具体的な数字を用いている。 →☆時間の経過などが読み手に伝わるため、臨場感を高めている。</p>			
	○話し合ったことを踏まえ、初めの問いの答えを示す形でまとめさせる。	・前時の筆者が感じたことや、①～④の観点について話し合われた工夫や効果が「答え」の根拠になるよう、つながりを意識しながら整理させたい。	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比喩や情景描写などを用いた多彩な心情表現があり、筆者の思いを豊かに表現している。</li> <li>・具体的表現により臨場感をもたせたり、短文を適所に用いて軽快なテンポを生んだりなど、用いる語句の一つ一つに、意図をもたせている。</li> </ul>	<p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>Google スライド・ 発表ノート・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心情を表す表現とその効果について考え、作者のもの見方や考え方をとらえようとしているか確認する。</li> </ul>	
		<p>Cの生徒に対しては、他者の意見で納得できたものを使ってまとめるよう、声をかける。</p>	
まとめ (10分)	○本時の振り返りと次回の予告を行う。	・次回は作成した発表ノートをもとに、グループで交流を行い、自分が随筆を書く際に生かしたいことをまとめることを伝える。	

### (3) 本時の評価基準

- ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができている。

[思考力、判断力、表現力等] C (1)

## 9 単元の観点別学習状況の評価の総括

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒の状況 Bと判断される	・本文の読み取りを通して、語句がどんな意味や効果をもたせて使われているかについて、理解している。(振り返り、観察)	・筆者の本文における工夫とその効果を考えることを通して、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして自分の考えをもっている。(発表ノート、スライド、観察)	・積極的に自分の考えを相手に伝えたり対話したりして、自分の読みを深めようとしている。(発表ノート、観察)
生徒の状況 Aと判断される	・本文の読み取りを通して、語句がどんな意味や効果をもたせて使われているかについて理解し、自分の考えを広げたり深めたりしている。(振り返り、観察)	・筆者の本文における工夫とその効果を考えることを通して複数の描写や情報を関連付けて文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして自分の考えをもっている。(発表ノート、スライド、観察)	・積極的に本文を多角的な視点から読み込み、複数の情報を整理して自分の考えを相手に説明したり対話したりして、自分の読みを深めようとしている。(発表ノート、観察)

### 10 参考文献

- ・さくらももこ「たいのおかしら」(小学館)
- ・さくらももこ「おんぶにだっこ」(小学館)
- ・国語教育指導用語辞典(教育出版)